



# 中期ビジョンについて

2017年5月23日

古河電池株式会社

取締役専務執行役員 小野 眞一



# 古河電池の経営戦略

## 長期ビジョン： Dynamic Innovation 2020の実現

目標値：売上高 980億円・営業利益 90億円・海外売上高比率 60%

### FURUKAWA BATTERY 長期ビジョン実現のためのキーワード

#### 安全と品質の徹底的な追求

- 災害・事故ゼロ  
(安全安心な環境構築)
- 市場クレームゼロ  
(品質・機能の追及)
- 市場で選んで頂ける品質(サービス)の提供

#### 事業拡大と新事業開拓

- 復興投資設備のフル稼働(いわき)
- 産業分野への再投資(今市)
- 研究開発への投資と新製品開発

#### 事業体質強化による収益向上

- 営業体制の効率化(販社体制見直し)
- 自動車・産業共同での事業所再構築
- 徹底した原価差額改善によるC/D

#### グローバル展開のさらなる加速

- SFC収益向上とFIBMの軌道化
- タイ・インドネシアに続く次の拠点構築
- 未進出市場(インド・南米・アフリカなど)での展開

# 中期/長期ビジョン

PHASE I

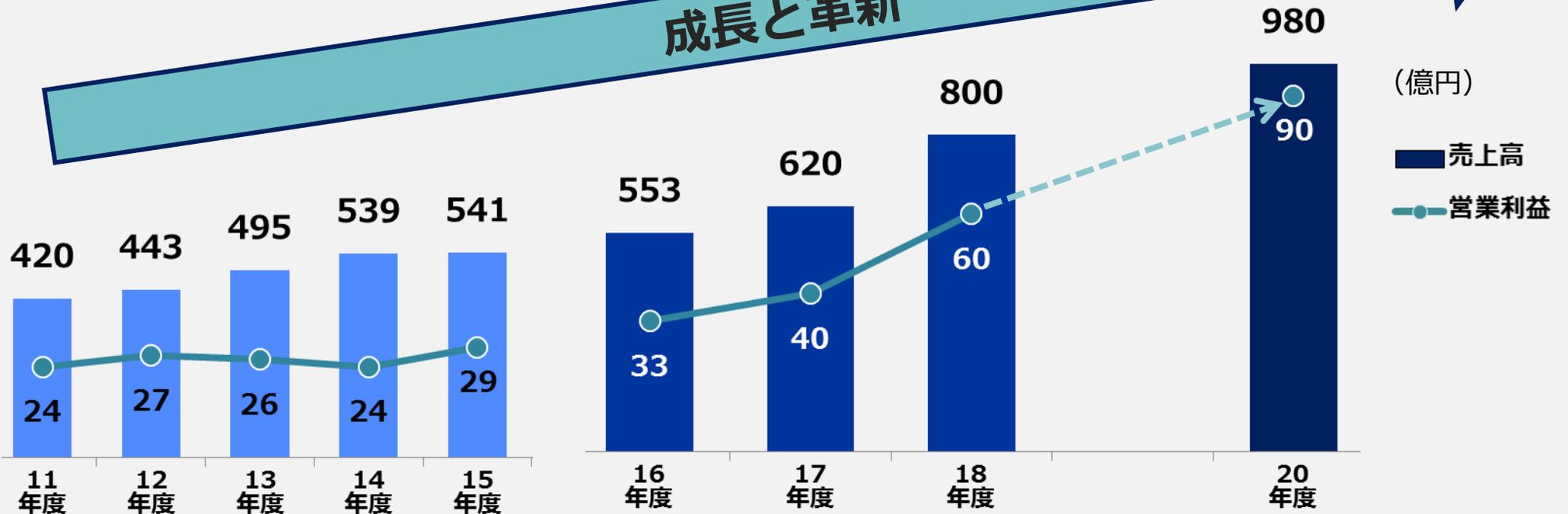
PHASE II

長期ビジョン  
Dynamic Innovation 2020

足元固めの5年（～2015）

打って出る5年（～2020）

成長と革新



2018年中期ビジョン(16-18年度)は長期ビジョンの試金石

# 新経営体制

## ■ 2017.6.27付で経営体制変更予定

- 現技術開発担当役員の小野が新社長に就任予定
  - 既存事業に加え、新製品\*開発を加速させるねらい



**徳山 勝敏**  
(現代表取締役社長)

取締役会長に就任予定

**小野 眞一**  
(現取締役専務執行役員)

代表取締役社長に就任予定

\* 18年度に新製品対個別売上高比率9.1%を目指す(2018年中期ビジョン)

# 略 歴



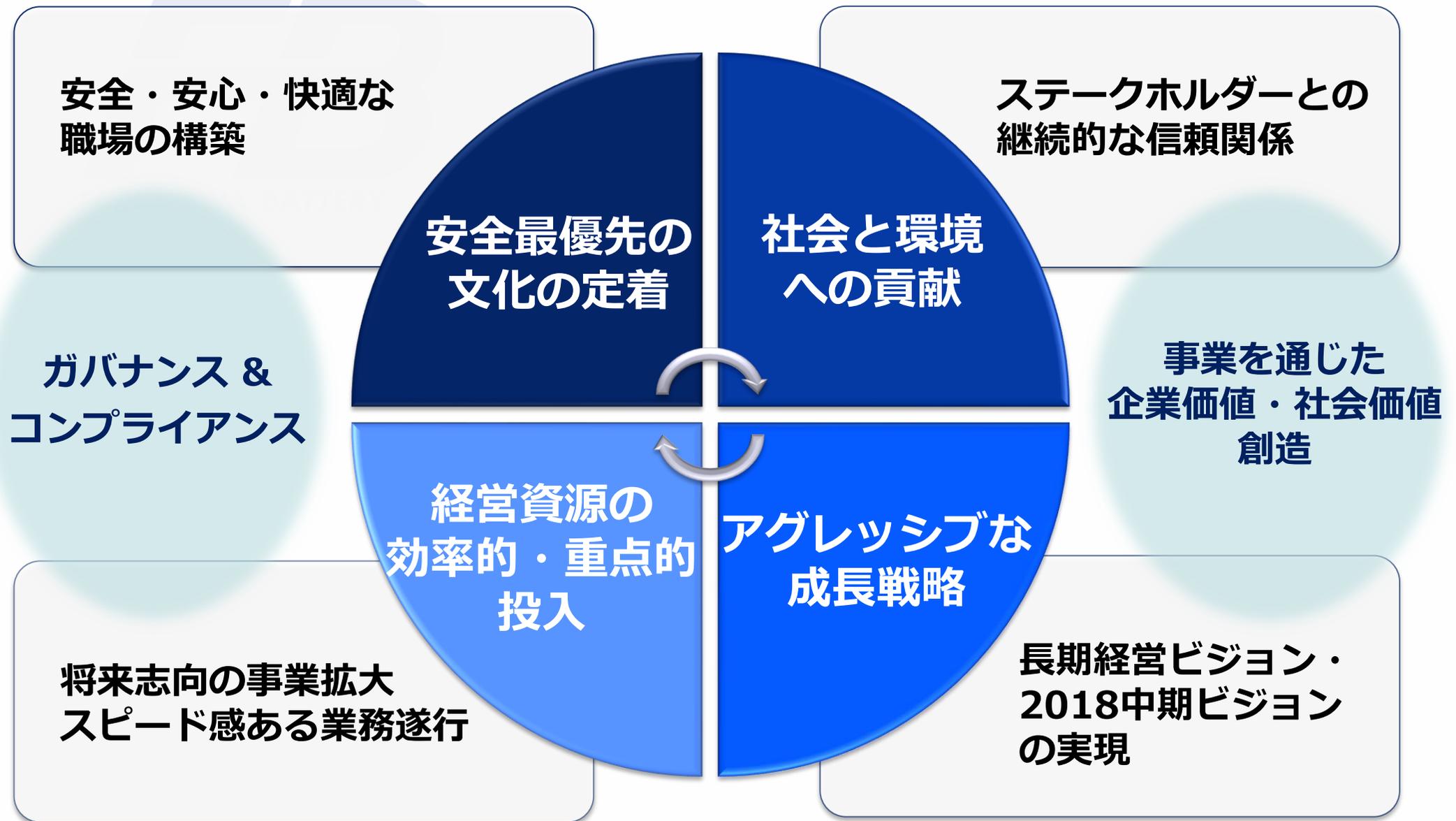
取締役専務執行役員  
**小野 眞一**

(1955年4月26日生 62歳)

1978	防衛庁（現防衛省） 入庁
1991	当社入社
2007	産業機器事業本部 アルカリ品質保証部長
2009	技術開発本部 企画情報部長
2010	取締役 技術開発本部長
2011	執行役員 技術開発本部長 *
2012	取締役執行役員 技術開発本部長
2014	取締役常務執行役員 技術開発本部長
2016	取締役専務執行役員 技術開発本部長（現任）

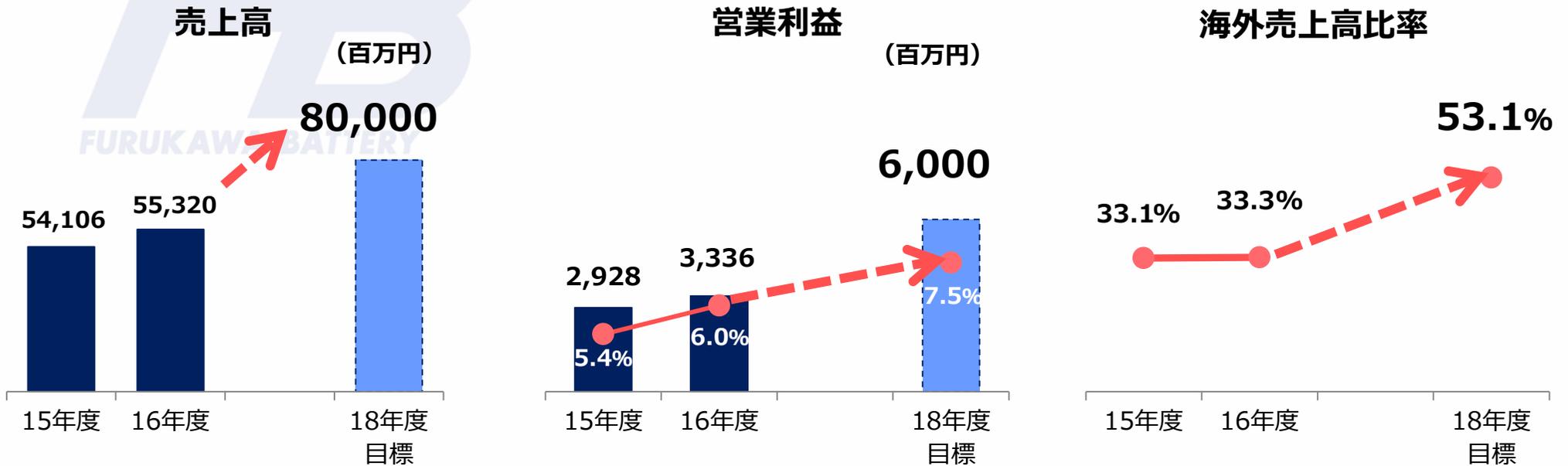
\* 2011年 執行役員制度導入

# 17年度 経営方針



# 2018年中期ビジョン

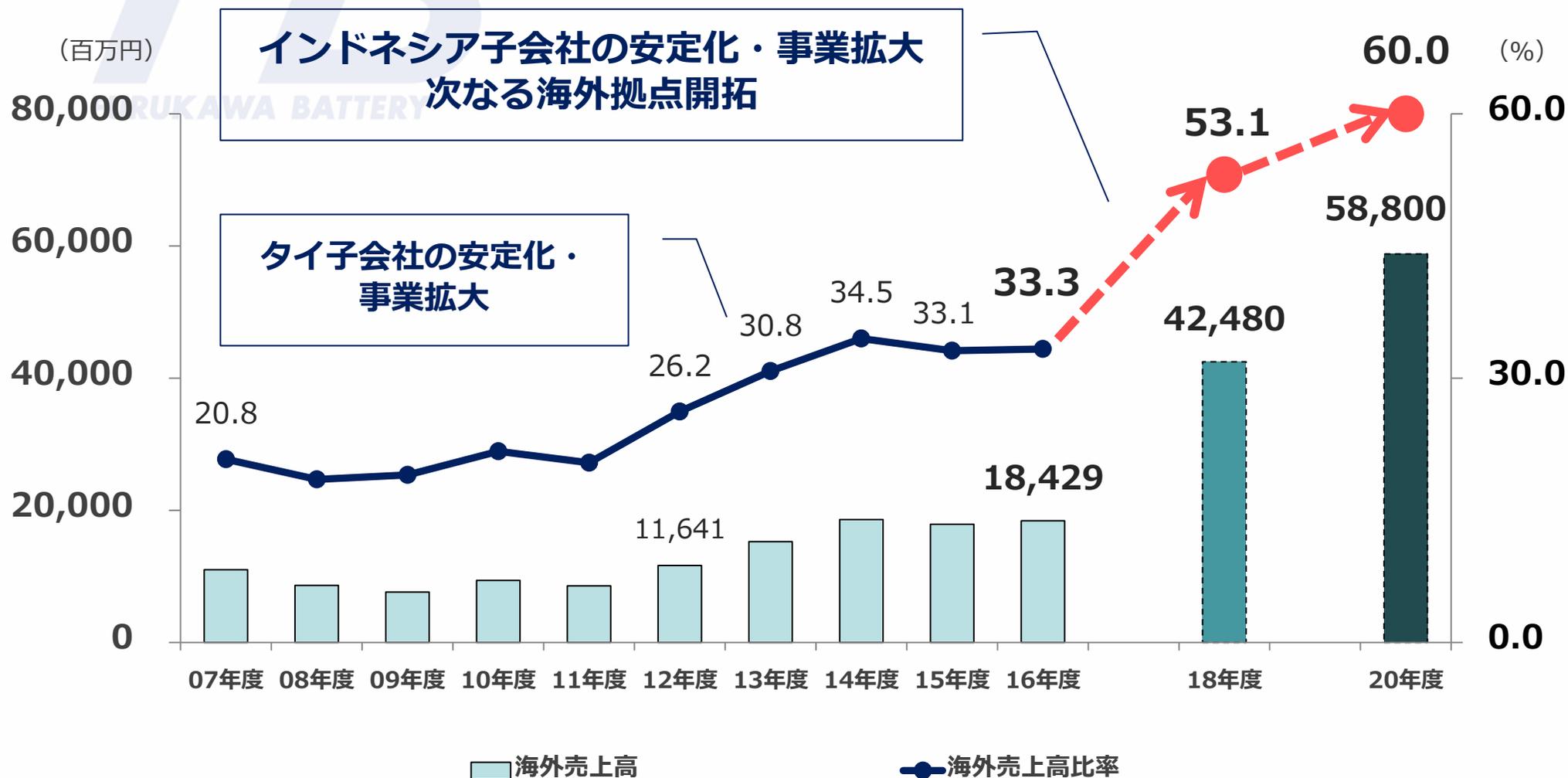
## ■ 主要経営指標



## ■ 拡大へのキーワード

- 事業拡大による売上増（新製品、新規市場、海外）
- 効率化と合理化による利益率増（集約、コスト削減）
- 海外拠点拡大による海外売上高比率増（拠点能力拡大、新拠点）

# 中長期ビジョン実現のキーワード①：海外事業拡大



# 海外展開の状況

## インド【技術支援】

Exide Industries Limited

自動車用/二輪車用

## 中国【技術支援】

青島亚通达铁路设备有限公司 (ATD)

鉄道車両用(アルカリ)

山东圣阳电源股份有限公司 (Sacred Sun)

産業用鉛

## Inter Far East Wind International CO., LTD.

(アイウィンド : I-WIND社)

タイで風力発電ビジネスを展開。  
タイ国内初蓄電システムの構築に  
当社のUltraBatteryを採用

## タイ【連結（完全）子会社】



## SIAM FURUKAWA CO., LTD.

(サイアム・フルカワ社 : SFC)

自動車用電池の販売が堅調に推移  
連結業績の増収・増益に寄与  
借入金なしの健全な経営状況

## ベトナム【資本提携】

## Dry Cell and Storage Battery Joint Stock Company

(ドライセルアンドストレージバッテリー : PINACO)

16年9月に株式取得。Vietnam National Chemical Group(国営)に  
次ぐNo.2株主に

## インドネシア【連結子会社】



## PT. FURUKAWA INDOMOBIL BATTERY MANUFACTURING

(フルカワ インドモービルバッテリー マニュファクチャリング : FIBM)

2015年2月 新工場竣工。サリム財閥と提携。販売網の拡充に注力中



# 海外での進捗①

## ■ ベトナムPINACO社\*の株式取得

\* Dry Cell and Storage Battery  
Joint Stock Company

海外事業展開における中長期的成長戦略の実現

ベトナムにおける自動車用・産業用電池販売・アフターサービス  
一貫提供体制を構築

**PINACO**  
ベトナム国内外の  
ネットワーク



**古河電池**  
技術・営業の  
ノウハウ



前列左から3人目がPINACO社のVAN社長



## 海外での進捗②

### ■ Thailand I-WIND社との成約合意

- タイ南部のナコンシータンマラート県での地方電力公団(PEA)との政府系プロジェクトにて風力発電・蓄電の計画
- タイ国内初の本格的な蓄電システム
- 当社のサイクル用長寿命形キャパシタハイブリッド制御弁式据置鉛蓄電池UltraBatteryの採用が決定



海外における産業用蓄電池ビジネスの起点に！



# SFC（タイ子会社）の進捗

## ■ 生産体制増強

- 2012年からの継続的な設備増強。足下の生産能力不足解消に注力

年	件名	効果（投資前比）
2012	パンチング <sup>*1</sup> 設備	鉛量削減160t/年
2012-2015	新充電工程1-4期	能力増強160%
2016	新充電工程5-6期	能力増強115%
	新充電工程 トータル	175%
2013	二輪用電池組立新ライン	能力増強130%
2014	四輪用電池組立新ライン	能力増強130%
2014	四輪用電池新出荷ライン	能力増強140%
2015	ボールミル <sup>*2</sup> 増設	能力増強130%
2015	化成工程 <sup>*3</sup>	能力増強110%

## ■ 17年度拡販計画

- タイ国内の需要が急増している乗用車用（市販）の拡販に注力
- アセアン（ミャンマー・カンボジア・マレーシア等）向けに輸出拡大

\*1 パンチング：自動車用鉛蓄電池極板の打抜製法   \*2 ボールミル：鉛塊から微細な鉛粉を作る装置   \*3 化成工程：極板のみを充電状態にする工程



# FIBM（インドネシア子会社）の進捗

## ■ 現在取組中の課題

### － 物量確保

- 古河電池全社を挙げて発注、輸出ルート確保に注力、  
現地販売体制についてもFB主導でルート開拓を実施中

### － 生産体制確立

- FB全面バックアップによる生産性の向上、生産・品質業務標準の遵守促進

### － 製品対応設備の拡充

- 四輪を中心に品質向上・増産に向けた設備投資を計画（2017年）

### － 開発

- 新車メーカーへの対応、コストダウン仕様の検討

### － 調達

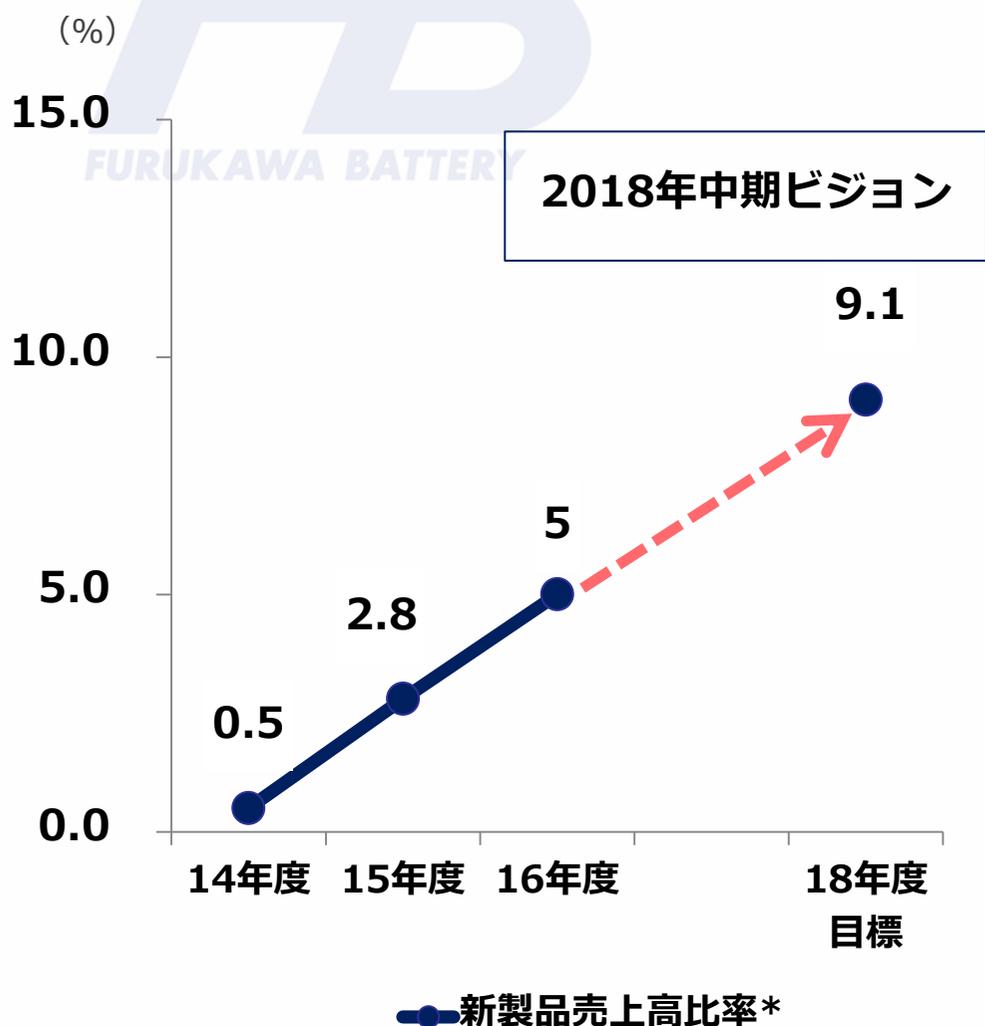
- 現地調達強化 & 古河電池主導のグローバル調達

### － 原価低減

- FB全面バックアップによる原価低減促進



# 中長期ビジョン実現のキーワード②：新製品開発



## ■ 自動車用

- 環境対応車対応  
ウルトラバッテリー、E N規格電池

## ■ 産業機器用

- 再生可能エネルギー、インフラ対応  
サイクルユースタイプ電池

## ■ 新規開発アイテム

- リチウムイオン電池
- マグネシウム空気電池



\* 個別売上高に対する新製品売上高の比率

# 国内での進捗

## ■ 自動車電池事業

- いわき・今市工場の「マザー工場化」により、製造・技術・人財の海外展開推進
  - 福島復興起業の軌道化による製造能力向上とFIBMサポート体制の構築
  - HV用補機電池の増産計画完遂により限界利益額向上



製造現場（新充電工程）

## ■ 産業機器事業

- 今市地区拡大整備を通じ、事業革新&原価低減推進
  - 据置鉛蓄電池の新ライン構築
  - 針貝工場の蓄電実証システム構築
- 海外パートナーとの連携強化（中国、ベトナム等）  
→海外拠点の礎の構築

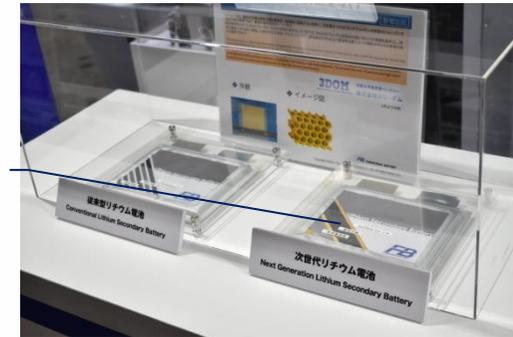
# 次世代リチウム電池の開発

## ■ リチウムイオン電池（LIB）の高エネルギー密度化を目的として厚型正極を用いた『次世代リチウム電池』を開発中

- 高エネルギー密度化により電池サイズは大きくすることなく蓄えるエネルギー量を大きくすることが可能

厚型正極

第8回 [国際] 二次電池展 ～バッテリージャパン～  
(2017.3.1-3) での展示の様子



## ■ 首都大学東京と株式会社ABRIを設立

- 同大学金村教授とともに、リチウムイオン電池のさらなる高性能化・実用化を目指す
- 同社を「首都大学東京発ベンチャー」として支援

左から2人目が首都大学東京 金村教授（ABRI社CTO）、  
左から3人目が同社社長の阿部



# 16年度の主な对外発表案件

海外

- ベトナム 蓄電池メーカー PINACO社の株式取得

新製品

- JR東日本のエキナカ自販機向けにリチウムイオンバッテリーユニットを開発・設置

海外

- タイ 風力発電機メーカー I-WIND社との成約合意
- 子育てサポート企業の証「くるみん」取得
- グリーン購入法\*に基づく「環境物品等の調達に関する基本方針」の変更において、  
非常用携帯電源が災害備蓄用品として新規追加  
→ MgBOX=非常用携帯電源の仕様基準適合品



新製品

- 第8回 [国際] 二次電池展 ~バッテリージャパン~ 出展
- ECHNO[エクノ] IS UltraBattery 追加ラインナップ



新製品

- (17年度) 首都大学東京とともに次世代リチウムイオン電池開発会社(株) ABRIを設立

\* 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」

# テレビ神奈川での会社紹介

- 「神奈川ビジネスUp To Date」
  - 2017.3.6(月) 21:00-21:30 放送
    - MgBOX (マグボックス) の開発背景と製品について
    - はやぶさへのバッテリー搭載と今後の可能性



※放送内容は、tvk公式HPの「バックナンバー」またはYouTubeから【tvk 古河電池】で検索してご覧ください

# 将来情報についての注意事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しており、主要なものとして以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 為替相場の変動による影響
- ・ 主要製品に使用される原材料の価格変動
- ・ 海外における政治的および社会的リスク
- ・ 取引先の業績悪化等
- ・ 自然災害の影響

なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。

(注) 当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。年度表記について、15年度は2016年3月期、16年度は2017年3月期（以下同様）を表しています。